

一般質問要旨(7面から続く)

②消防団員の拡充に向けて新たな取組みが必要。見解を。
 ③薬剤師会と医薬品の備蓄などで連携を深めているにもかかわらず、防災無線が設置されていないのはなぜか。



消防団員による消火活動

【区長】①傷病者が殺到する中での迅速な対応は、区民

の生命を守るためにも大変重要な。②今後も各種防災事業や広報いたばしへの掲載などで支援していく。③薬剤師会との協議の中で、設置が必要とされた場合は検討する。

文化振興事業の推進を

【質問】板橋吹奏楽団と小中学校のプラスチックバンドなど、幅広い世代で交流できるコーラボレーション演奏の実施を。

【区長】音楽文化に対する関心を高める効果的な情報発信手段と考えており、実施に向けて検討を進めていく。

※以上のほか、公共施設の老朽化への対策、放課後対策事業(あいキッズ)の進め方について質問があった



田中いさお

(公明党)

教育の課題を問う

【質問】①教職員が誰でもエビペンを使用できるように研修会の実施を。②他区に比べ土曜授業の回数が少なく、実施回数は各学校に委ねられている。実施回数を増やし、授業数の統一化を。③土曜授業といきいき寺子屋事業との兼ね合いの今後の展開は。

【教育長】①エビペンを保有する児童・生徒のいる学校に対しては、全教員を対象とした研修の実施を指導する。②25年度から全小・中学校で各学期1回、年3回以上の振替休業日なしの土曜授業を行う。実施回数増加は、国、都および他区の動向を見定め検討する。③土曜授業との重複を



なんば英一

(公明党)

いたばし未来創造プランを問う

【質問】①教育によるまちづくりへの区長の決意は。②区政経営の一体改革の主体者は区民、職員、議員、区長である。けん引役として、区職員のグッドプラクティスの取り組み事例を区政経営の一体改革のエンジンとしてオンリーワンのモデルとすべき。また、ホームページやフェイスブックなどで区職員の情報発信を。

【区長】①未来創造プランでは未来につながる子育て・教育を掲げており、魅力ある学校づくりを進める。②GNP活動を契機に、区職員の意識改革とさらなる行政サービスの向上に努める。ホームページには25年4月以降に掲載予定。フェイスブックについては検討する。

歩行者用信号機の設置を

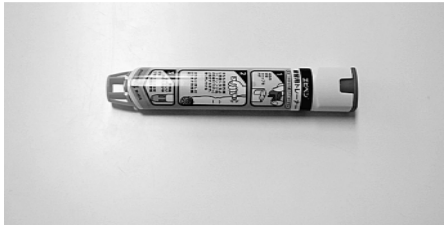
【質問】徳丸一丁目18番と徳丸三丁目交差点の信号に歩行者用信号機の設置を。

【区長】徳丸一丁目18番の信号機は、志村警察署から公安委員会に上申することを検討するとの回答を得た。徳丸三丁目は、所管警察署に相談のうえ、対応していく。

教育の課題を問う

【質問】①小・中学校で基礎学力を補習する仮称「いたばし未来創造塾」の開設を。

性についてのマニュアルはどのようになっているのか。③緊急経済対策を活用して打音検査を実施し、問題があれば耐震化工事の実施を。④区内医療施設の耐震化率を把握しているか。また、医療施設の耐震化推進の後押しを。



急性アレルギー症状を緩和するアドレナリン自己注射薬(エビペン)の練習用トレーナー

緊急経済対策の活用を

【質問】①国の補正予算・緊急経済対策による区への財政的効果・見通しの評価は。②体育館内非構造部材の耐震

【区長】①詳細が不明のため、区の補正予算に反映することは困難な状況。区財政の好転に長期にわたって寄与するよう期待している。④把握していない。今後、都を通じ

て病院の耐震化の情報を入力し、区内医療機関に対して、助成制度の周知をしていく。

【教育長】②文部科学省作成の「学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック」を使用して、学校職員による点検や転倒・落下防止対策を行って

議会レポートミックス

特別委員会が報告書をまとめました
 4つの特別委員会では、区政課題について活動方針に基づき調査・研究を行い、それぞれの課題解決に有効な対応策を取りまとめたので、要旨を掲載します。

災害対策調査特別委員会

【災害対策について】東日本大震災発生を受け、浮き彫りとなった課題を整理するとともに、地域防災計画の改訂、業務継続計画の策定、支援体制などの確立に向け、検討を行った。災害に強いまちづくりをめざすとともに、区民一人ひとりの主体的な行動を促進し、危機管理意識を醸成するため、初動対応力の充実強化、避難所における見直し、区民への情報発信・意識啓発、水害対策、帰宅困難者支援の基盤整備、防災訓練、建物耐震化促進、放射能汚染対策、防災力の充実強化に向けての9項目について提言する。

地域経済活性化調査特別委員会

【区内中小企業などの支援策について】産業構造の変化や不況の長期化、後継者不足、東日本大震災の影響などにより、急速な変化に対応できない事業者は厳しい状況に追い込まれており、将来に向けての地域産業のあり方が問われている。中小企業などの現状などの調査を行うとともに、中小企業などのニーズ、各地域がもつ資源や実情を踏まえた中長期的な地域経営戦略について検討を行った。また、板橋区の中小企業に対する支援策、商店街に対する支援策、企業立地支援策の推進、区の取り組みについて提言する。

交通対策調査特別委員会

【東上線の連続立体化と大山駅周辺地域のまちづくり計画について】及び「区内の交通における課題について」区内には複数の鉄道や路線バスがあり、区民の移動手段として重要な役割を果たしている。また、東日本大震災の影響により、緊急時の移動手段として自転車への需要も急速に高まっている。そこで、東上線立体化とそれに伴う大山周辺地域のまちづくり、コミュニティバス及び自転車関係施策に論点を絞り、課題や改善策について調査を行った。東上線の連続立体化、コミュニティバス、自転車施策及び区内の共通した交通施策に関して提言する。

議会改革調査特別委員会

【議会改革の方向性について】近年の地方自治法の改正などにより、議会の権限は拡大している。民主主義の根幹である住民の参政意識を高め、権限の拡大に伴う責任に耐えうる議会に変えていく必要がある。議会基本条例については、学識経験者を参考人として招聘し、条例に関する認識を議会全体で共有することができた。区民との理想的な関係を構築する議会を目標として、議会基本条例及びその他の議会改革関連項目について提言する。

第2回区議会定例会の開会予定

平成25年第2回区議会定例会を6月3日(月)から6月19日(水)まで、会期17日間にわたり開会する予定です。会議は原則として午前10時(議会運営委員会は午後1時から)に開会の予定です。変更となる場合がございますので、傍聴をご希望の方は、事前に区議会事務局にお問合せください。

なお、第2回区議会定例会での審査を希望される請願・陳情は、5月24日(金)までに提出ください。

日程

- 5月27日 ● 告示
- 議会運営委員会
- 6月3日 ● 本会議
- 本会議
- 6月4日 ● 本会議
- 企画総務委員会
- 区環境委員会
- 健康福祉委員会
- 6月7日 ● 都市建設委員会
- 文教児童委員会
- 議会運営委員会
- 6月12日 ● 議会運営委員会
- 特別委員会
- 6月13日 ● 特別委員会
- 6月14日 ● 特別委員会
- 6月18日 ● 議会運営委員会
- 6月19日 ● 本会議

北朝鮮の核実験に抗議し、世界の恒久平和を求める決議

北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)は、平成25年2月12日、3回目の地下核実験を実施したと発表した。昨年12月の長距離ミサイルの発射に続き、今回の核実験も国連安全保障理事会の決議に違反して強行されたものである。核実験の中止を求める多くの要請を無視し、核実験を強行したことは、国際社会の平和と安全に対する重大かつ深刻な挑戦であり、強い憤りと深い憂慮を禁じえない。

板橋区議会は、世界の恒久平和の実現を目指して「板橋区平和都市宣言に関する決議」を行い、核兵器の廃絶を全世界に訴えており、国際平和への切実な願いを踏みにじる北朝鮮の核実験実施を断じて容認することはできない。

よって、板橋区議会は、北朝鮮の核実験実施に断固抗議し、今後の核実験と核開発を直ちに中止するよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成25年2月14日

板橋区議会